

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年4月13日～2019年4月19日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

週前半は、中国の経済指標が良好な結果になったことなどから世界経済の先行きに対する楽観的な見方が広がり、金利は上昇しました。週後半は、欧米金利が低下したことから上昇幅を縮める展開になりました。カナダ・ドル円はカナダ金利に連れる形で下落しました。

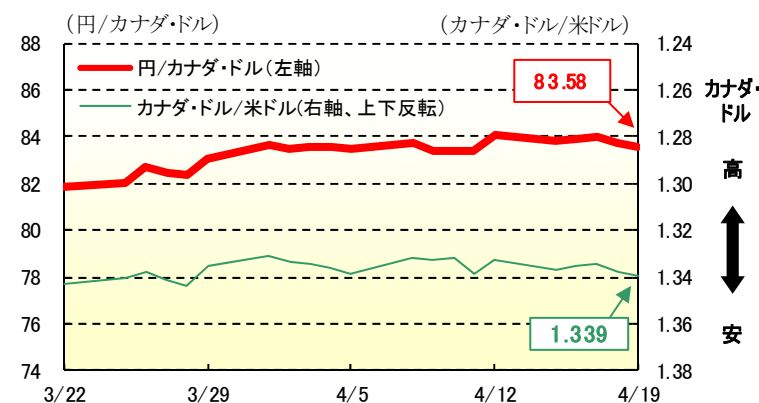
経済指標では、CPI(消費者物価指数)、小売売上高が発表になっています。CPIは市場予想通りとなりましたが、コアCPI(中央値)に関しては市場予想を上回り、カナダ銀行(中央銀行)の誘導目標の2.0%と一致する結果になっています。小売売上高も市場予想を上回っており、前月比で4か月ぶりのプラスになりました。

### 【2】今週の見通し

今週は、カナダ銀行(中央銀行)の金融政策決定会合の開催が予定されており、政策金利は据え置きが予想されています。先週発表された小売売上高、CPIの結果を受けて、今後の利上げペースに関してどのような声明文を出すか、注目が集まります。米国ではGDP(国内総生産)の発表が予定されており、米国経済の堅調さが確認される結果となれば、米国の金利が上昇し、それに連れてカナダの金利も上昇圧力が高まるとみえています。

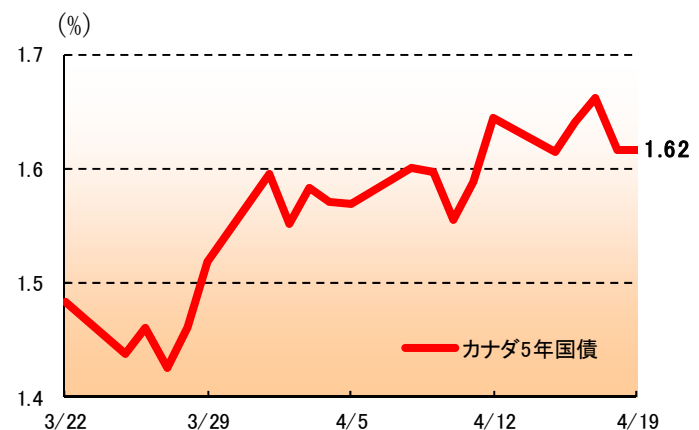
また、トランプ大統領がイラン産原油の輸入禁止に関して、一部の国では輸入が認められる適用除外を設けていましたがその打ち切りを発表しました。そのため、足元で原油価格は需給改善が意識されていることを背景に上昇しており、カナダの通貨、金利を下支えすることが見込まれます。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2019年3月22日～2019年4月19日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【カナダ 金利推移】 (2019年3月22日～2019年4月19日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>